宮城ふるさとプラザイベント販売コーナー利用案内

申込先:(公社)宮城県物産振興協会／宮城ふるさとプラザ
問合せ:(公社)宮城県物産振興協会／宮城ふるさとプラザ／県食産業振興課　販売支援班
各連絡先:(公社)宮城県物産振興協会(022-263-5050)
宮城ふるさとプラザ(03-5956-3511)
県食産業振興課　販売支援班(022-211-2815)
ホームページ:http://cocomiyagi.jp

◆イベント販売実施の目的

「宮城ふるさとプラザ」は、県産品の販路拡張と売れる商品づくりを支援することを開設目的の一つにしています。

イベント販売コーナーは、県内の皆様の商品、地域の商品がどれくらい首都圏の消費者に認められるのか、また皆様の販売技術がどこまで通じるのかを、皆様が自ら販売する事でじかに感じていただき、今後の商品開発、販売技術向上に活用していただくためにご利用いただくものです。

※　池袋駅の平均乗降客数　約200万人／1日
※　宮城ふるさとプラザ前通行客数　約7万人／1日

◆イベント販売実施の条件１

（１） 期間・営業時間

・イベント販売の実施期間
入口側イベントコーナー、店内奥イベントコーナーいずれも、水曜日から火曜日までの連続７日間を原則とします。（一週間未満のイベントに関しては、現場の状況に合わせて対応を検討いたします。）

・販売時間：午前１１時から午後８時まで（物販コーナー営業時間と同じ）

（２） 販売スペース

・入口側イベントスペース　W1500×D750×H700の平台２台分のスペース
・店内奥イベントスペース　W1500×D750×H700の平台３台分のスペース
※いずれも展開内容を調整の上、スペースを分割して利用する場合があります。

（３） 販売什器　　以下に記載の什器は無料にてご利用いただけます。

・平台ワゴン（W1500×D750×H700）通常在庫なし※必要に応じて当店にて手配します。
・会議用テーブル（W1800×D450×H700）4台
・常温多段什器（W1600×D280×H1025と、W1600×D400×H720の2台で1セット）2セット

上記に記載のない什器（冷蔵・冷凍オープンケースなど）、また台数が足りない場合などは、レンタルでの手配となります。（費用については出展者負担となる場合がありますので事前にご相談下さい。）

◆イベント販売実施の条件２

（４）手数料
・売上金額の２０％です。（その他固定の費用はありません。）
※新規出店者様のみ、取引スタート時にシステム登録料（4320円か2160円）が発生します。（初回のみ）

（５）販売員
・商品について知識を有するスタッフの方１名以上を配置した上で販売を行って下さい。
（十分な商品知識がある場合は、マネキン・アルバイトの方での対応も可能です。）

（６）その他
・会計は店舗レジにて行いますので、出展者の方に金銭の授受をしていただくことはありません。
・ショッパー（買い物用のビニール袋）等は当店で準備いたしますが、特殊な備品（例：冷凍食品の保冷剤や保冷パック等）は出展者様において準備願います。
・商品保管のスペースは広くありませんので、なるべく期間中何度かに分けて販売商品を納めて頂けるようお願いします。
・店内では、裸火が使えません。よってカセットコンロやガスボンベの使用は出来ません。
・熱源の利用は、電気を利用する機器（ホットプレート、IH調理器等）のみとなります。
また調理機器の容量は100V：1，5kw×2台までです。（200Vの機器は事前にご相談下さい。）
・冷蔵の多段ケースなど、高さのあるものは使えません。

◆必要経費

（１） 施設利用料
・イベントコーナーの利用は無料です。
・別紙記載の常温什器については無料でご利用いただけます。（「イベント販売実施の条件１」参照）
・冷蔵冷凍オープンケースなどをご利用の場合は、レンタル費用（約3万円）がかかる場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

（２） 商品配送経費
・納品、返品とも出展者負担となります。

（３） 販売員に係る経費
・旅費、滞在期間中の宿泊費、食事代等は出展者の負担となります。
・宿泊施設は出展者にて手配願います。

（４） 広報宣伝費
・宮城ふるさとプラザが通常行う以外の広報宣伝に要する経費は、出展者の負担となります。
※ダイレクトメール、チラシ作成費用等 （店頭道路部分での配布は、警察の許可が必要となります。）

（５） 手数料
・売上金額の２０％を手数料として差し引いた上で、残りの売上については翌月末に一括して振り込みます。

◆売場展開図

・入口側イベントコーナー
什器の並びは原則としてこの形（2台展開のL字型）

・店内奥イベントコーナー
什器の並びは希望に合わせて変更可。
（いずれの什器も可動式）

どちらのコーナーも、什器は平台・常温多段・会議用テーブル・冷蔵冷凍オープンケース、いずれも使用可能。（電気容量の都合上、店舗奥のコーナーでは冷蔵冷凍オープンケースは最大2台まで。）

※それぞれのコーナーの特徴
入口側・・・飲食を含めた全ての入店客の目に触れる場所。また店舗外の歩道上からも見えるため、積極的な試食や声掛けを行うイベントに合う。

店舗奥側・・・客数は幾分減るが、レジへの導線上に売り場がある為、レジ待ち中の購入も期待できる。
試食等を準備するスペースが入口側に比べて広い。

◆店内イメージ（入口側イベントコーナー）

・常温多段什器×1セット、会議用テーブル1台での展開例。

◆店内イメージ（店内奥イベントコーナー）

・冷蔵冷凍オープンケース×２台、常温多段什器×１セットでの展開例。